事例No.	2213
公表年度	R4
団体の属性	中核市
団体名	奈良県奈良市

事例区分	公会計

タグ	・情報公開 ・適切な資産管理 ・組織改革

事例種類	その他

事例内容・タイトル

財務書類の早期作成・公表

出典

地方公会計に関する取組事例集

財務書類の早期作成・公表（奈良県奈良市）

事例概要

○ 時間を要する固定資産台帳の更新作業については、年度内から各事業担当課において仕訳作業を開始して、準備を進めることにより、決算年度の翌年度10月初旬までに財務書類等を公表している。

取組内容

○ 予算査定の繁忙期（9月中旬）などと重ならないよう、地方公会計の繁忙期を6～8月頃にするため、平成30年度よりスケジュールの前倒しを実施。

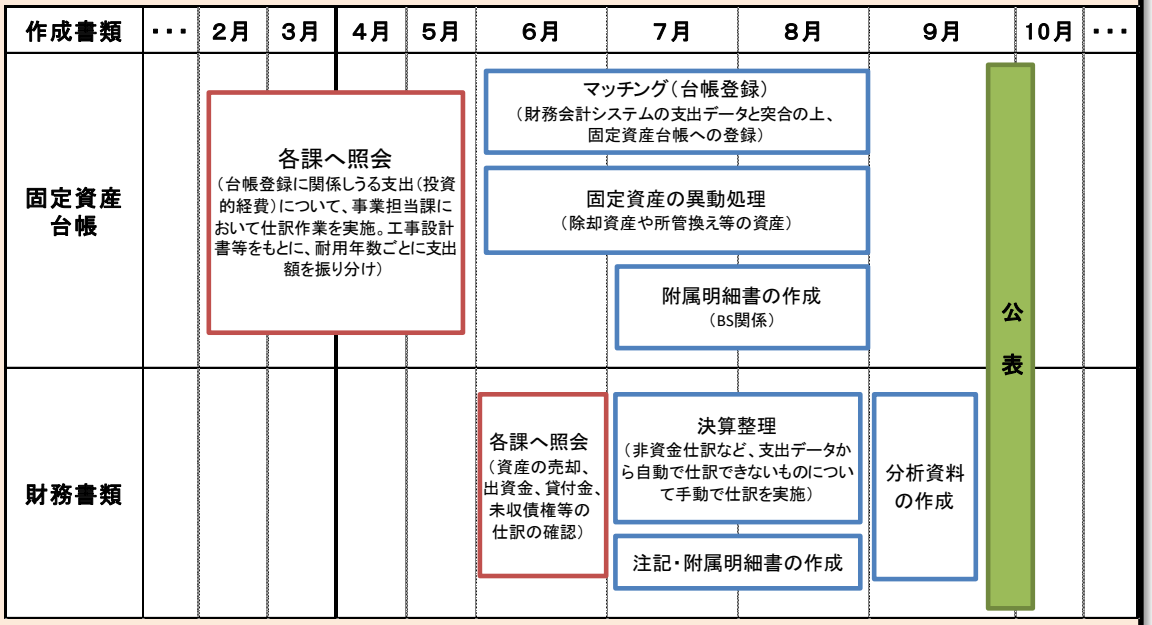
○ 財務書類等の作成・更新に係る作業スケジュールを確立し、庁内全体で計画的に作業を実施するため、庁内用のマニュアルを整備・共有。

○ 特に、財務書類を作成する上で、固定資産台帳の更新作業については作業時間を要するため、年度内の2月から5月までの間において、台帳登録に関係しうる支出（投資的経費）について、各事業担当課において仕訳作業を実施するよう徹底。

○ 各事業担当課から提出された仕訳情報を元に、決算年度の翌年度6月～8月にかけて、財政担当課において、台帳登録作業、決算整理、注記・附属明細書の作成、分析資料の作成等の作業を実施。

○ 決算年度の翌年度10月初旬には、固定資産台帳、財務書類について公表している。

【作業スケジュール】



※ 赤枠部分が、事業担当課における作業。
※ 青枠部分が、財政担当課における作業。

効果等

○ 作業スケジュールを確立の上、各事業担当課において計画的に作業を実施することにより、各担当者の地方公会計に対する意識向上に繋がるとともに、財務書類等の早期の公表を実現できている。